

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	火災に対応した訓練はあらゆるケースを想定し2ヶ月に1回は計画を立て可能な限り実施している。一方で水害(土砂災害時)訓練は口頭での情報伝達、会議での議論にとどまっており、実際に行動を伴った訓練は現在まで1回の実施があるのみとなっている。	訓練の度に具体的な目標を設定し年3回は避難計画を立て実施していく。行動決定のタイミングや役割分担を職員各々が再認識する。実際の避難行動を通し問題点を見い出し安全かつ迅速な対応を可能とする。	本年度作成した避難確保計画を基に避難時の持ち出し品や備品の充実に努める。避難完了までの目標時間を毎回設定し内容の見直しや改善を繰り返していく。実際の避難場所内部の下見を通し避難後の対応も考えておく。	12ヶ月
2	49	認知症カフェへの参加等、外部の協力も仰ぎながら新たな外出の機会が増やせるように意識は持っているが対象となる人、時間も限定的になってきており入居者様全員が同じような満足感を得られているかどうかは疑問が残る現状である。	外出とは、車やバスでどこかに出掛け何かをしてくる事だという概念にとらわれ行動に消極的になっているように感じられる。豊かな自然の中をゆっくり話をしながら散歩したり車椅子で散策したりと身近な資源の活用を目を向ける。	職員が業務に追われ余裕が持ていない側面もある。一日の日課に記載されないような一場面の持つ意義や重要性をもう一度考え行動に移していく。利用者様よりの訴えがあつてからではなく職員から積極的に外出の提案が出来るよう意識していく。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。